



ぺんぎん通信



QMA10290
ISO9001 認証取得

2019年5月227号

<https://www.akutagawa.co.jp>

2019年度目標発表会&新入社員入社

2019年度アクタガワ目標発表会が4/9(火) ホテルアソシアにて開催され、静岡県内23施設105事業所の職員が一堂に会しました。社長の芥川より設立後20期連続での増収報告と、今後の方向性の説明を受け、2019年度事業目標の達成に向け気持ち一つにすることができました。また、今年も11人の新入社員が入社し、一人ずつの自己紹介では緊張した表情でしたが、先輩社員との懇親会では、熱く語り、互いの活躍にエールをおくり合いました。新しい仲間とともに、「人間の生きがいを追究し豊かな地域コミュニティを創造」していきます。



2019年度新入社員(前列)と10代・20代の若手職員100人で社長との記念撮影



感性にささやく五感の生活

桃の節句

3月3日は雛祭り。

五節句のうちの一つで、もともとは3月上旬の巳の日をさし、桃の花が咲くころに行われる行事です。

日本では昔から草や紙で人形（ひとがた）を作り、自分の穢れを移して海や川に流す風習がありました。のちに人形は白い布で作られた幼児のぬいぐるみとなり、男女一対の立ち雛、美しい衣装、宮廷の雅な情景を映す雛人形と変わっていきました。

〈ハートライフ高柳〉



修二会

奈良県にある東大寺二月堂で毎年行われる行の一つ「修二会（しゅにえ）」。本尊十一面観音に、東大寺の僧侶が人々にかかわって罪を懺悔して国家の安泰と万民の豊樂を祈る法要です。修二会は「お水取り」とも呼ばれ、春を告げる行事として古くから奈良の人々に親しまれています。3月1日から2週間にわたって続く本行入りを前に、堂内の須弥壇（しゅみだん）に供える椿の造花をつくる「花ごしらえ」が僧侶たちによって行われます

〈ハートライフ小石川〉



利休忌

3月27、28日は茶聖・千利休の忌日であり、「菜の花忌」ともいわれます。

千家流茶道の開祖・千利休は、秀吉の命により、天正19年2月28日に自害しました。その1ヶ月後れを命日とし、表千家は27日、裏千家は28日に追善茶会を行っています。表千家、裏千家ともに利休像をかかげます。当主が茶を献じて社中門弟が茶事で供養します。調度はすべて利休の遺品が用いられます。

〈ハートライフ初生〉



最近では、認知症についての情報を目にする機会も多くなってきていると思いますが、高齢化が進むなか、65歳以上の方の4人に1人が認知症または認知症予備軍（軽度認知障害：MCI）であるといわれています。

1. 認知症とは…

「認知症」とは、脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなることで、様々な障害が起こり、生活するうえで支障が出ている状態のことを指します。「認知症」は、本人に自覚はなく、物事全体がすっぽりと抜け落ち、ヒントを与えても思い出すことが出来ません。進行性で、日常生活に支障をきたします。一方「物忘れ」は、認知症と違い、本人に自覚はあり、ヒントがあれば思い出すことができます。進行性はなく、日常生活に支障をきたしません。

2. 認知症の症状とは…

認知症の症状は、大きく「中核症状」と、「周辺症状」の2つに分けられます。

「中核症状」：脳の神経細胞の破壊によって起こる症状で、そのタイプの認知症を発症した場合に誰しもが発症する症状のことです。代表的なものは**記憶障害**で、初期には即時記憶（新しいこと、新しく経験した物事を覚える能力）の障害が起こることが多く、症状が進行すると、近時記憶（昨日の食事など短期的な記憶を思い出す能力）の障害や遠隔記憶（昔の出来事などを思い出す能力）にも障害が及びます。また、時間や場所・人の名前などが分からなくなる**見当識障害**や、**失認**（見たり触ったりしても、それが何であるかを認識できない）・**失行**（服の着方が分からなくなったり、道具の使い方が分からなくなる）・**失語**（意味のある言葉を話せなくなったり、相手の言葉が理解できない）、道筋を立てた思考が出来なくなる**判断力の低下**、などがあります。

「周辺症状」：中核症状を原因として、それが行動異常や、精神・心理症状となって現れるものです。周辺症状は、その人の生活環境や性格、それまでの人生史などが影響し、人によって現れ方が異なります。



2019年度 入社式

4/1(月) 2019年度入社式が開催され、11名の新入社員が入社しました。芥川社長より辞令を手渡しされ、一人ずつ自己紹介と抱負を発表しました。また、1年前に入社したPHL大岩の山田彩人さんが応援メッセージが贈りました。5月からの配属に備え、新卒研修に取り組んでいますので、温かく受け入れてくださいますようお願いいたします。



北欧視察研修レポート

第4回 「スウェーデンにおけるPT・OTの役割とケアワーカーとの連携」

北欧視察研修2日目。あるワークショップに参加した際のことです。そこでは作業療法士（以下 OT）との直接的な対話の場があり、OT の役割やケアワーカーとの連携について学ぶ機会がありました。

主に施設サービスにおける OT の役割としては、利用者のアセスメント情報をもとに歩行器具などの補助具を選定し、ケアワーカーにその補助具の使用について直接的な指導をします。OT は直接的なりハビリやケアを行うだけでなく、利用者の ADL/IADL をアセスメントし、利用者とともに利用者の生活の目標をプランニングしていきます。またケアワーカーと密接に連携を取り、利用者の生活における目標の達成を実現します。

先のコラムでお話しているとおり、スウェーデンでは高齢者の自立支援（高齢者の主体性や意向を尊重し、補助具等を活用しながら自分自身でできることを増やす）を促す意識が非常に高く、その生活環境づくりやケアの方法について PT・OT が主体となりチームメンバーとの連携を強めています。そして高齢者の自立支援を促すことでケアとしてかかわりを持つ職員の介護負担を軽減し、職員の労働環境の向上も見据えたチームワークを発揮していると実感しました。

（本社スーパーバイザーグループ/長谷部）



OT によるワークショップ①



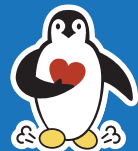
OT によるワークショップ②

【20周年記念活動】ご声援ありがとうございます！

アクタガワは20周年記念として「困難に立ち向かい大きな感動を勝ち取ろう！」というスローガンを掲げ「一人ひとりのチャレンジを応援」し、静岡県内各地で活動してまいりました。「富士登山」「ラン伴（静岡県内）」「しまだ大井川マラソン」「焼津マラソン」「静岡マラソン」「蒲原ニューイヤーウォーク」「日本平ウォーク」など、様々な挑戦から得られた達成感、チームワーク、地域交流の感動体験を「生きがい創造」「地域コミュニティ創造」に活かしてまいりますので、2019年からもご指導を宜しくお願い致します。



ぺんぎん食堂



4月

駿河井
竹の子土佐煮
玉子豆腐ずんだがけ
漬物・お吸い物
羊羹

